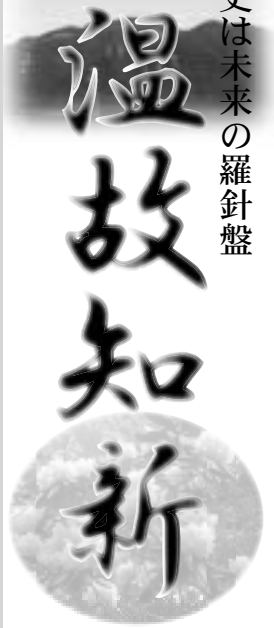


歴史は未来の羅針盤



『近江日野の歴史』第一巻「自然・古代編」、および第五巻「文化財編」は、各公民館や教育委員会において一冊四、〇〇〇円（税込）で販売中です。ぜひお買い求めください。また、第六巻「民俗編」の予約も受け付け中です。

町史編さん室では、ただいま町史の執筆に向けて、古文書の収集・整理・調査を行っています。町民の皆さんをはじめ多くの方々のご協力により、貴重な史料が発見され、様々な歴史的事実が明らかになりつつあります。

今回は、これまでの調査の成果を町民の皆さんに知っていただくための取り組みとして、第三巻「近世編」の研究報告会についてご紹介いたします。

「近世編研究報告会」とは

「近世編」は江戸時代の日野を取り上げます。日野に所領をもっていた大名や旗本の支配の様子、町場や農村の暮らし、農工商業・宗教・教育など、多彩な内容を予定しています。執筆はそれぞれの専門分野で造詣が深い方々にお願ひしています。

近世編の内容がより充実したものと成るよう、町史編さん室では



▲研究報告会の様子（日野公民館）

各地区の会議所のほか、神社や寺院、かつて村役人や日野商人であったお宅などに残されている古文書の整理・調査を行っています。その種類は、村掟・触書・書簡・帳簿・日記など多様です。

これまでの古文書調査の中間報告として、平成一八年度から、町民の皆さんに公開するかたちで、近世編の執筆委員による研究報告会を開催しております。

報告会は身近で興味深いテーマ

を取り上げています。例えば、宝

暦一四（一七六四）年に、大窪・村井町が松尾町と絶交するという事件がありました。御旅所（雲雀野）の住人が馬見岡縮向神社の掃除に出仕しなくなったため、大窪・村井町は、掃除は貢租の代わりであると主張しました。しかし、松

尾町は、掃除は氏子として自主的に勤めていると反論しました。これが発端となり、両町は約二年間、商取引や葬儀などで交流が途絶えてしまったのです。

日野の歴史を学ぶ

毎回、報告会では町民の方と委員との間で意見交換が活発に行われています。地元の歴史に対する理解と愛着を一層深めることができたとして、ご好評をいただいております。

こうした取り組みは、町史編さん事業について知っていただくだけでなく、日野の歴史について明

民俗編刊行延期のお知らせ

民俗編の刊行は平成20年3月の予定でしたが、編集作業の遅れにより平成20年7月末まで延期させていただきます。予約いただきました方々には、ご迷惑をおかけしますが、もうしばらくお待ちいただきますようお願いいたします。刊行の準備が整い次第、改めましてご案内いたします。

なお、割引特典がある予約申込期限も延長いたしますので、是非この機会にお申し込みください。

開催日は不定期ですが、研究報告会は今後も開催する予定です。日野の歴史について興味をお持ちの方は、一度ご参加されてみてはいかがでしょうか。詳しくは、町史編さん室までお問い合わせください。